

平成29年度「廃棄物の適正処理・水処理に係る調査研究助成制度」審査委員会
審査結果報告

平成29年6月23日
大阪湾広域臨海環境整備センター

大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施している大学・研究機関等における若手研究者の調査研究を対象とした助成制度の審査結果は以下の通りです。

なお、事務局は公益財団法人 廃棄物・3R研究財団が務めました。

◆応募状況

平成29年4月14日(金)から5月12日(金)の募集期間において、13件の応募がありました。

◆審査委員会概要

開催日： 平成29年6月8日(木)
委員： 廃棄物処理、海域水環境保全に関する学識経験者 4名
審査方法： 審査委員による採点評価を基にした審査

◆審査結果

審査委員会において厳正な審査が行われ、その結果9件が平成29年度の助成対象として採択されました。下表に助成対象調査研究を示します。

表 助成対象調査研究一覧

申請者氏名 (50音順)	所属名	課題名
相子 伸之 (あいこのぶゆき)	地方独立行政法人大阪府立環境農 林水産総合研究所 環境研究部 水 生生物グループ	一槽式SADシステムによる海面埋立管理型処分場浸 出水の高効率・低コストの窒素低減技術の提案(その 3)
遠藤 智司 (えんどう さとし)	大阪市立大学 都市研究プラザ テニュアトラック特任	パッシブサンプラーを用いた廃棄物埋立処分場及びそ の周辺における微量有機汚染物質の測定(その3)
金 相烈 (きむ さんよる)	公立鳥取環境大学 環境学部環境 学科	焼却排ガスの活用による都市ごみ焼却残渣の炭酸化 処理による温室効果ガス削減及び海面埋立処分場の 安定化促進に関する研究
日下部 武敏 (くさかべ たけとし)	京都大学大学院 工学研究科 都市環 境工学専攻	最終埋立処分地における有害化学物質の挙動予測に 向けた浸出水中有機物の網羅的解析(その2)
佐藤 昌宏 (さとうまさひろ)	北海道大学大学院工学研究院 循 環計画システム研究室	焼却残渣資源化のための焼却主灰と飛灰の区画埋立 管理方法の提案
鈴木 慎也 (すずきしんや)	福岡大学工学部	少子高齢化時代における循環資源の退蔵の実態と適 正管理方案に関する研究(その2)
西村 文武 (にしむら ふみたけ)	京都大学大学院工学研究科都市環 境工学専攻	海面埋立地からの浸出水中窒素除去への嫌気性アン モニア酸化(ANAMMOX)反応の適用と温室効果ガスの 排出抑制
日高 平 (ひだか たいら)	京都大学大学院工学研究科都市環 境工学専攻	集約嫌気性消化による小規模処理施設での廃棄物系 バイオマス有効活用の促進(その3)
水谷 聡 (みずたに さとし)	大阪市立大学大学院工学研究科	高反応性消石灰に起因する焼却飛灰からの有機物汚 濁負荷に関する研究